

“夢中になる時間”を安心して

保護者のための
ゲームの
年齢別レーティング
活用ガイド

年齢別
レーティング制度とは？

知識編

購入時のチェックポイントと
「困った&心配」への対処法

活用編

よくあるギモンに
お答えします

Q&A編

CERO



レーティングはデジタル世界のシートベルト

年齢別 レーティング制度とは？

この制度は、国内で販売されるゲームソフトを対象に、ゲームの内容に応じて対象年齢などをレーティングマークで示す仕組みです。

ゲームは子どもにとって楽しい遊びである一方で、作品によっては暴力的な場面や刺激の強い表現など、年齢ごとに少し注意が必要な内容が含まれることもあります。レーティングマークは、保護者の方がゲームを選ぶときに「この子に合っているかな？」と確認できる大切な目安です。表示を参考にすることで、子どもが安心して安全にゲームを楽しめる環境づくりにつながります。この制度は、特定非営利活動法人 コンピュータエンターテインメントレーティング機構(略称CERO)が2002年10月1日より運用しています。

知って
おきたい!

ゲームとの上手なつきあい方

諸外国にもみられる年齢別レーティング制度

年齢別レーティング制度は、日本だけでなく、欧米や北欧、オセアニア、アジアなど世界各地で導入されています。多くの国では推奨年齢に加え、暴力等詳しい表現内容を示すコンテンツアイコンも併用し、ゲームに含まれる要素を分かりやすく伝えています。こうした情報は家庭でのゲーム選びを助け、子どもたちが安心して楽しい時間を過ごすための大切な手がかりとなります。世界で広く使われているレーティングを積極的に活用していきましょう。



年齢別レーティング制度を理解し、子どもの年齢に合ったゲーム選びの参考にしましょう。

レーティングマークの種類と見方

レーティングマーク(年齢区分マーク)は、
子どもが安心してゲームを楽しむようにするための、最も重要なマークです。

コンテンツアイコンは、
年齢区分がどのような表現に基づいて決まったかを示すもので、
暴力や恐怖、恋愛などの9つのカテゴリーに分かれています。

年齢区分マーク

— ゲームの表現内容を審査したうえで年齢区分を決定しています —



全年齢対象



12才以上を対象



15才以上を対象



17才以上を対象



18才以上のみを対象

※表現や内容が一定の基準を大きく超える場合は、業界の自主的なルールにより、レーティングの対象外となることもあります。

コンテンツアイコン



恋愛



セクシャル



暴力



恐怖



飲酒・喫煙



ギャンブル



犯罪



麻薬等薬物



言葉・その他

※[A]区分(全年齢対象)のソフトには、コンテンツアイコンは表示されません。

その他のマーク



教育・データベース
教育系／データベース系のソフトに表示されます。



規定適合
体験版に表示されます。



審査予定
ゲームメーカーが完成前に製作中のソフトを宣伝する場合に、販促物などに表示されます。
※この時点では審査はされていません



マークを確認し、子どもと話しましょう

購入時のチェックポイントと、「困った&心配」への対処法

ゲームソフトを購入するときは、知識編で紹介した
年齢別レーティングマーク^①とコンテンツアイコン^②を確認しましょう。

パッケージ版（ソフト）

パッケージ表面と背表紙に年齢別レーティングマークと帯色、裏面にコンテンツアイコンが表示されています。



ダウンロード版

ダウンロードストアの製品情報ページに表示されています。



※WEBページによって表示位置が異なります

知って
おきたい!

ゲームとの上手なつきあい方

コンテンツアイコンを子どもとの対話のきっかけに

年齢区分は、ゲーム選びの大切な目安です。ただし、子どもの感じ方や成長のペースには一人ひとり違いがあります。同じ年齢でも、ドキドキする場面は楽しめても争いの場面がづらい子もいます。だからこそ、レーティングマークだけでなく、その根拠となる暴力・恐怖・セクシャルなどを示すコンテンツアイコンもあわせて確認してみましょう。アイコンをきっかけに対話を重ねながら、子どもに合ったゲームを一緒に選んでいきましょう。



声をかけ合うことで、子ども自身も自分の気持ちに気づきやすくなります。

「困った&心配」ケースを解決

保護者の方からのよくあるケースをもとに、解決のヒントをご紹介します。



CASE-01

小学生の弟が、中学生の兄がやっているゲームをやりたいのですが、どう言い聞かせたらよいでしょうか。

対処法

「守りたい」と「楽しめる」をセットで伝えましょう。

レーティングを小さな子どもに説明するのは難しいですが、保護者の方の「レーティングで子どもを守りたい」気持ちと、「他に面白いゲームはたくさんある」ことを併せて伝え、禁止ではなく、子どものゲームの世界を広げる機会と捉えて対応するとよいでしょう。

TALK

3つのSTEPで、子どもと対話をしてみましょう。

STEP

1

子どもへの共感と問いかけ

「そうだよね、やりたいよね。でもね、映画と同じで、ゲームでも年齢ごとに遊べるものの目安があるの、知ってるかな？」

STEP

2

「守りたい」を伝える

「レーティングというんだけど、それを無視して、小さい子が大きい子向けのゲームをすると、心の成長に影響が出るかもしれないんだって。そういう影響からあなたを守りたいの。」

STEP

3

「楽しめる」を伝える

「小さい子でも楽しめる面白いゲームはたくさんあるんだよ。他の面白そうなゲームを探してみようよ！」



CASE-02

対象年齢内の作品なのですが、戦闘シーンの多いゲームを子どもが夢中でやっているのを見ていると、攻撃的になってしまわないか心配です…。

対処法

子どものゲームリテラシーを養いましょう。

暴力的なゲームが攻撃性を高めるかについて、今のところ一般的に因果関係が証明されているとは言えません。しかしそうした影響の懸念は以前からあり、学校教育などでは、ゲームと現実の違いを考えさせる「ゲームリテラシー教育」が行われています。子どもに問いかけ、自分で判断させる方法で、小学校低学年から家庭でも行えますので、気軽に試してみましょう。

効果的な 問いかけ例



「ゲームでは人を攻撃したり戦う人がかっこいいけど、現実ではどうかな？」 「ゲームみたいな戦って、現実ではあるのかな？」

このような、子ども自身にゲームと現実との違いを考えさせる問いかけが有効です。とくに年齢区分が上の作品を遊ぶ場合は、影響を受けやすいと思われるため、意識的に対話を重ねましょう。



楽しさはそのままに、安心をプラス！

ゲーム機のペアレンタルコントロールを賢く使いましょう

ペアレンタルコントロールは安全利用のための
様々な機能を備えています。

現在発売されている家庭用ゲーム機には、CEROの年齢区分に対応した「ペアレンタルコントロール機能」が備わっています。あらかじめ保護者が設定しておくことで、年長者向けソフトの利用を制限できます。さらに、プレイ時間の上限設定、課金や購入の制限、オンラインでの交流範囲の管理なども可能です。また、多くのゲーム機では、たとえば兄用・妹用といった形で利用者ごとにアカウントを分けて設定することもできます。機種によってはスマートフォンと連動し、遊んでいる時間や内容を確認できる機能もあります。ご家庭のルールに応じてご活用ください。

※各機能の具体的な設定方法は、ゲーム機各社のウェブサイトでご確認ください。

知って
おきたい！

ゲームとの上手なつきあい方

話し合って決める、わが家のゲームルール

子どもにゲームの健全利用を促すために、年齢に合わないゲームを制限したり、利用時間を管理することは大切なことです。ただし、一方的に決めるよりも、「なぜこのルールが必要なのか」を説明し、子どもと話し合いながら決めることで、納得感が生まれやすくなります。自分で関わって決めたルールは守りやすくなり、トラブルも減りやすくなります。ゲームを通じた対話を大切にしながら、わが家のルールを一緒に作っていきましょう。



保護者の方が方向性を示すことは大事ですが、子どもと話し合ってルールをつくることも大切です。

よくあるギモンにお答えします



Q ゲーム機が異なると同じタイトルのゲームソフトでも異なるレーティングマークがついていたり、シリーズものでレーティングマークが異なるゲームソフトがあるのはどうしてですか？

A CEROの審査はゲームソフトごとにゲームメーカーから提出された審査用素材によって行われています。同じタイトル、シリーズものであっても、ゲームソフトの表現内容が異なっていればレーティング結果が異なる場合もあります。

Q Z区分以外のレーティングマーク(B、C、D区分)のゲームソフトは対象年齢に達していないと購入できないのですか？

A レーティングマークは対象年齢以上向けの表現がゲームソフトに含まれていることを示すものであり、購入のための目安としてご活用頂くものです。

Q Z区分のゲームソフトの販売規制はCEROが行っているのですか？

A CEROはゲームソフトの表現内容について審査を行う機関であり、ゲームソフトの開発や販売に関わっていません。CEROの審査結果に基づき、一般社団法人コンピュータエンターテインメント協会(CESA)が未成年保護のガイドラインを制定し、販売店等と連携を行っております。また、CEROの審査結果を条例に取り入れて規制を行っている地方自治体もあります。

Q CEROのマークを見れば、課金やオンライン交流があるのかも分かりますか？

A 年齢区分だけでは分かりません。ゲームの説明も確認しましょう。

CEROの年齢マーク(A・B・C・D・Z)は、ゲームの表現内容(暴力・恐怖・セクシャルなど)の目安を示すものです。課金機能やオンライン交流の有無は、年齢区分だけでは判断できません。購入前には、パッケージやストア画面の説明欄、機能表示などもあわせて確認することが大切です。あらかじめ子どもと「課金はどうする?」「オンラインでのやり取りはどうする?」と話し合っておくと、より安心して楽しめます。

Q うちの子は12歳ですが、年齢区分B(12歳以上)のゲームは遊ばせても大丈夫ですか？

A 年齢区分上は対象年齢にあたります。年齢区分Bは「12歳以上」が目安なので、12歳の子どもは対象年齢に含まれます。ただし、同じ12歳でも感じ方や発達のペースには個人差があります。購入前にコンテンツアイコン(暴力・恐怖・セクシャルなど)を確認し、子どもの性格や特徴に合うゲームを選ぶようにしましょう。

Q 追加ダウンロードコンテンツによって、発売当初から表現が変化した場合、レーティングはどうなるのですか？

A CEROは、先ず発売当初のコンテンツに対してレーティングを行います。それ以降の変化については、当初のレーティングと異なる可能性がある表現内容が追加される状況になれば、各社からの申し出により再審査することとしています。

お願い

CERO並びにレーティング以外に関するご質問(例えばゲームソフトの発売時期や不具合など)は各ゲームメーカーにお問い合わせをお願いいたします。

CERO

Computer Entertainment Rating Organization

特定非営利活動法人

コンピュータエンターテインメントレーティング機構



<https://www.cero.gr.jp/>

企画・編集協力

お茶の水女子大学コンピテンシー育成開発研究所